

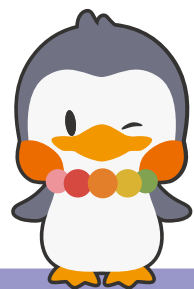
地域とつながる 百年のイベント

No.01

百年連携カンファレンスを開催しました

2025年6月19日に、当院主催の「百年連携カンファレンス」を開催し、地域でご活躍されている医療機関の皆様にご参加いただきました。今回は、当院救急センターより救急体制強化に関する取り組みを、消化器センターより内視鏡検査に関する最新の運用や工夫を紹介。また、外部講師として、医療現場で課題となる「ハラスメント」をテーマにご講演いただき、医療従事者同士のより良い職場環境づくりについて理解を深めました。加えて、各診療科部長による診療科の紹介を通じて、当院の医療体制や専門性、紹介受け入れ体制などについても情報共有を行いました。

参加者の皆様からは、「実際の取り組みがよくわかり参考になった」「顔の見える関係が築けるこうした場はありがたい」といった声を多数いただき、有意義な交流の場となりました。今後も地域の皆様と信頼関係を深めながら、より良い医療連携を実現してまいります。



No.02

救急症例検討会を開催しました

2025年5月28日、神戸市消防局の救急隊員との「救急症例検討会」を開催しました。Face to Faceでの意見交換は非常に有意義な時間となりました。

【第1部：症例研修会】では、救急隊の皆様から、当院に搬送された症例についてご提示いただき、救急センター長の小林医師と総合診療科の生方医師が治療経過を報告しました。

【第2部：意見交換会】では、日々の救急対応で感じていることについて、活発な意見交換を行いました。現場と病院、双方の視点を共有する貴重な機会となりました。今後も当院は「地域になくてはならない病院」を目指し、救急隊の皆様との連携をさらに深めてまいります。お忙しい中ご参加いただいた救急隊員の皆様に、心より感謝申し上げます。

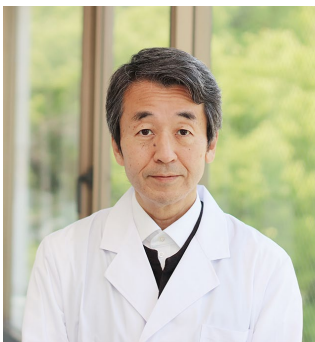


編集後記

この度はGENERALINKをお手に取っていただきありがとうございます。7月下旬から異常気象と言っても良い猛暑日が続き、感染症は一部減ったものの、当院においても熱中症や体調不良の患者様の受診、入院が増加しています。診療所の皆様におかれましては、その対応も大変だと存じますが、職員の皆様も何卒ご自愛くださいませ。

今回は当院の救急医療に対する取り組みについてのご紹介です。当院のスローガンは「地域になくてはならない病院になる」であり、地域の皆様の命と健康を支えることが病院としての存在意義であると考えています。その意味でも、救急医療は最重要課題の一つです。

救急の受け手側である当院の都合で考えるのではなく、患者様、搬送して下さる救急隊、また送っていただく診療所や施設の方々の立場で考え、より良い救急応需を目指して議論を重ね、可能なことから随時改善しています。職種間のこだわりを無くし、また医師においては科を越えたシームレスな環境を作ることで、より良い対応が出来るようになったと自負しておりますが、今後さらに改善していくために、引き続き皆様からご指導のお声をいただければ幸いです。今後とも神戸百年記念病院を何卒よろしくお願いいたします。



副院長 循環器病センター長
地域医療総合支援センター長
鈴木 秀治 Shuji Suzuki



医療法人社団 顕鐘会
神戸百年記念病院

地域医療総合支援センター [月～金曜日]9:00～17:30 [土曜日]9:00～17:00 [日・祝日]休み
TEL.078-681-6250 FAX.078-686-1802
〒652-0855 神戸市兵庫区御崎町1-9-1 TEL.078-681-6111 (代表)



地域医療機関向け広報誌 ジェネラルリンク

GENERALINK

総合病院の総合(GENERAL)と、連携(LINK)を組み合わせた造語になります。私たち神戸百年記念病院は、「地域になくてはならない病院になる」という理念のもと、地域の医療を共に支えるために、相互連携していきたいと強い想いを込めて作成しました。

2025.08
17

特集

新しい救急医療のカタチ ～より身近で、より頼れる存在へ～



医療法人社団 顕鐘会
神戸百年記念病院

救急医療のニーズが多様化する中、「断らない救急」を掲げた新たな体制づくりが当院で始まっています。今号では、その具体的な取り組みをご紹介します。



NO. 01

新たな3つの改革

信頼される救急を目指して



「紹介しても断られるかも」「どの診療科に紹介すればいいのかわからない」——

救急の紹介や搬送には、地域の医療機関にも多くの悩みがあります。

当院では、より紹介しやすく、信頼される救急を目指して、新たな取り組みをスタート。

3つの柱で、“断らない救急”を支えています。



診察前検査システム

急性・重症患者看護専門看護師が中心となって看護師が初期対応を担い、必要に応じて診察前に検査を実施。検査結果をもとにスムーズな診療が行える体制を整え、応需率向上にもつなげています。



診療科横断の連携強化

総合診療科がハブとなり、消化器・循環器・整形の各センターが連携。高齢者の軽症外傷や重症例にも、外科や整形外科と連携して柔軟に対応します。



柔軟な受け入れ

紹介状は後日でも迅速に対応可能。施設や訪問看護からの搬送にも応じ、地域連携医療総合支援センターを窓口在宅医療との橋渡しも進めています。救急隊専用PHSでの相談も受け付けています。



救急ユニット部長
急性・重症患者看護専門看護師
山本克英 看護師
KATSUhide YAMAMOTO

外科部長
救急センター長
小林政義 医師
MASAYOSHI KOBAYASHI

NO. 02

診察前検査システム

百年オリジナル



病院滞在時間
が短縮



急性・重症患者看護専門看護師

救急や集中治療の現場で高度な知識と判断力を持ち、重症患者の初期対応や多職種連携をリードする看護のスペシャリストです。当院では診察前検査の要否判断にも関わり、診療の質と効率向上に貢献しています。



NEW

受診の流れ



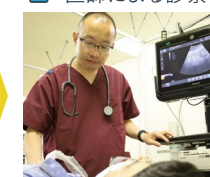
Walk in・救急車
医療機関から転送



看護師による
問診・初期評価



診察前検査
(必要時)



医師による
診察～治療



ご帰宅・入院

ほとんど待たずに
医師による診察へ

NO. 03

「断らない救急」を支える4つの診療科



総合診療科

紹介先の“入り口” として機能

- 複数疾患や臓器をまたぐ症状にも対応している。
- 治療のエビデンスとチーム医療を重視し重症患者さんの集中治療を行う。また透析の患者さんにも対応している。
- 専門医が初期対応を担い、必要に応じて専門科へ迅速に引き継ぐ。

消化器センター

外科と内科が連携し、 緊急症例に対応

- 外科と内科が連携し、消化管出血や胆道疾患など緊急症例に対応している。
- 夜間も内視鏡オンコール体制を整備している。

循環器センター

24時間緊急 カテーテル検査可能

- 24時間緊急カテーテル検査を実施している。
- 心疾患の急変にも即時対応し、他科との併診も柔軟に対応している。

整形外科

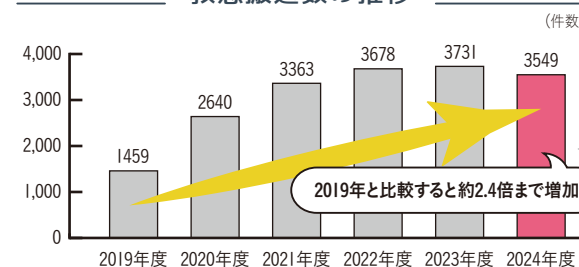
骨折・外傷症例に 24時間体制で対応

- 整形外科が常時対応し、骨折や外傷に迅速に対応している。
- 軽症外傷は外科と連携して受け入れている。

詳しくはコードを
読み取ってご覧
ください。



救急搬送数の推移



救急隊と連携



救急隊との連携を強化するため、定期的な講演会や意見交換を実施。現場の声をもとに、直通PHSの導入や外傷・急性アルコール中毒の受け入れ強化など、体制を柔軟に見直しています。

